

相続に関する

お客様のこんな質問に どう答えるか？

小澤和彦 弁護士法人 後藤東京多摩本川越法律事務所
弁護士

相続相談の中で、お客様から出される様々な質問。それに的確に回答をすることができれば、お客様からの信頼を得ることができる。本稿では、相続や相続対策に関する11のよくある質問を取り上げ、それにどう答えるたらいいか、一問一答で解説する。



質問 ①

親が認知症だったため、どんな財産があるのかわからないのだが…

親

が認知症だったとか、あるいは、認知症ではなかったけれども家族に何も知らせていなかったりで、どんな遺産がどこにあるのかわからないというケースはよくあることである。

遺産を確認する基本は、被相続人の預金通帳と郵便物である。特に、預金通帳を見ればお金の流れを把握できるので、そこから例えば証券会社にお金を移していれば、その証券会社に問い合わせて、株式や投資信託がないかを確認する。あるいは、保険会社にお金を支払っているか、その保険会社に照会をかけて、保険に加入していないかを確認するという具合である。そもそも、どこの銀行に口座を持っているかわからない、ということであれば、基本的には自宅の周囲に支店があるとか、勤務していた場所の周囲に店舗を持つ銀行

に片っ端から照会をかけることよ。

郵便物やメールを

確認して、ご案内や通知が来ていれば、その銀行にも問い合わせてみる。

もちろん、前提として、持ち物・所持品を探して、通帳やキャッシュカード、振込明細票等がないかを確認することは必須である。

不動産は名寄帳でも確認

不動産については、通帳から固定資産税の振込や引き落としがないか、市役所などから届いた固定資産税の通知書がないかを確認することにより、そこに不動産を所有していることがわかる。

また、「名寄帳」を役所から取り寄せることも行ったほうがいい。名寄帳には、その自治体にある課税不動産のすべてが載っている。

